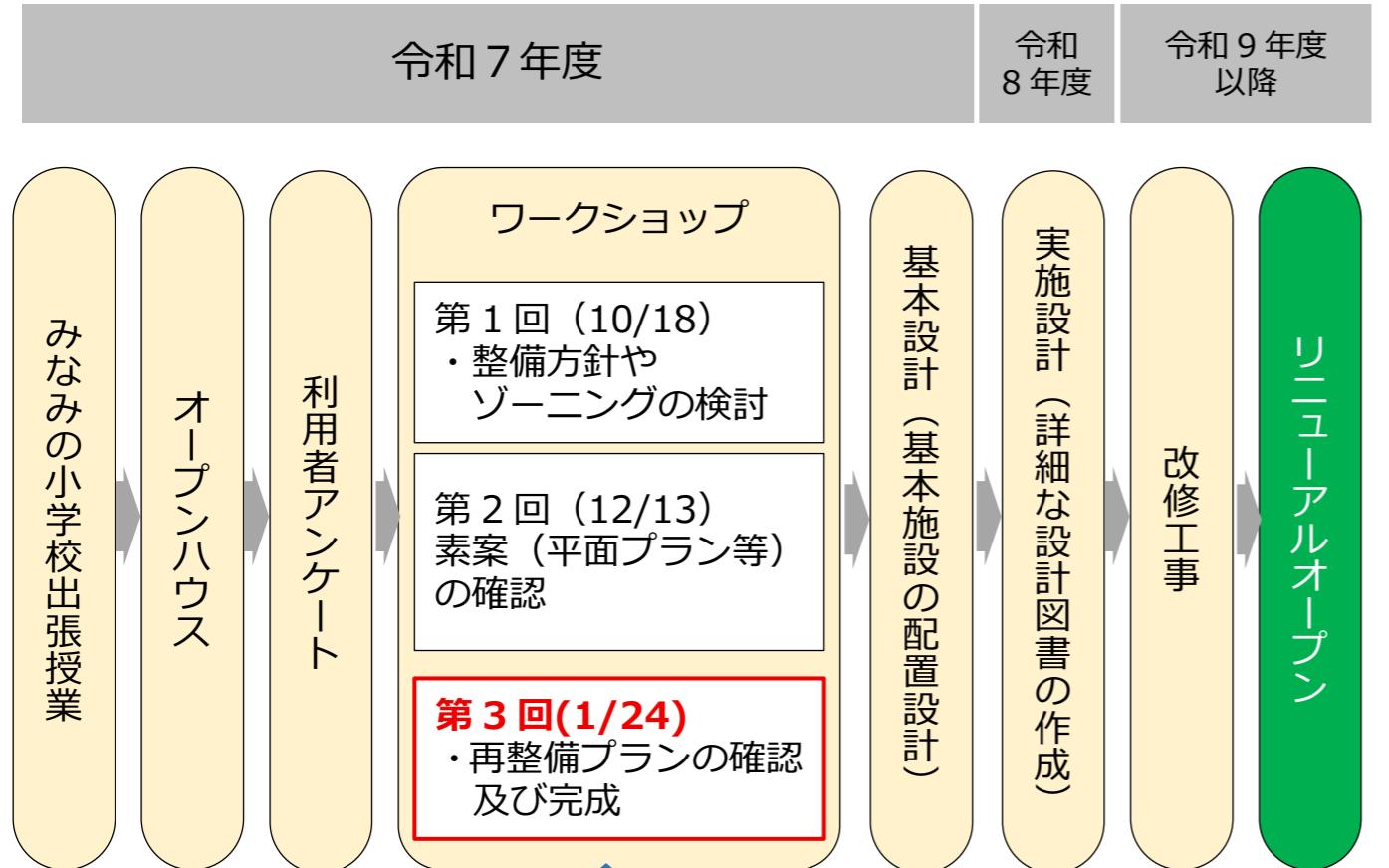


公園再整備の流れ



第3回ワークショップの概要

公園の整備プランをまとめよう

第2回ワークショップの成果を具体化した平面図を提示し、細部の確認を行い、公園プランを決定します！

ワークショップ 参加者募集中！ ～第3回開催予定～

◆開催日時

1月24日（土）
13:00～15:00

◆開催場所

南中野区民活動センター



参加登録〆切
1/16(金)まで

興味のある方はぜひご参加ください！



栄町公園の改修について計画案を作成する、公園づくりワークショップ（話し合いの場）に参加していただける方を募集しています。

公園づくりにご興味のある方、ワークショップへ関心のある方は、QRコードから参加登録をお願いします。

※希望者多数の場合は、人数を調整させていただきます。

記載内容に関するお問い合わせはこちらへご連絡ください。

中野区 都市基盤部 公園課 公園整備係
TEL：03-3228-5553（直通）
mail：koenseibi@city.tokyo-nakano.lg.jp

問合せ先

栄町公園 再整備ニュース

Vol.3

発行者：中野区 都市基盤部
発行日：令和8年1月9日

■ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。日頃より、区の公園行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。本年も、皆様に親しまれる公園づくりに邁進してまいります。

区では上位計画に基づき、公園の整備や維持管理を進めてきましたが、公園の利用形態やライフスタイル等の社会情勢の変化に伴い、公園に求められる機能や役割も変化してきました。

このたび、中野区公園再整備計画に基づき、栄町公園を改修することとなりました。時代やニーズに対応した子どもから大人まで楽しめる「魅力ある栄町公園づくり」を推進するため、オープンハウスやワークショップを開催し、みなさんのご意見を公園づくり・再整備に活かしていくことを考えています。

問合せ：中野区 都市基盤部 公園課 公園整備係

電話：03-3228-5553

メール：koenseibi@city.tokyo-nakano.lg.jp

中野区公園再整備計画
詳細はこちらから



第2回ワークショップを開催しました！

12月13日（土）、南中野区民活動センターにおいて、近隣にお住いの方々に参加いただき、第2回ワークショップを開催しました。

今回のワークショップでは、素案に基づいて、さまざまな観点から意見を出し合い、再整備計画の基本案について話し合っていただきました。ワークショップの詳細は、中面をご確認ください。

～当日のプログラム～

- ❖ 第1回ワークショップの振り返り・素案3案に関する説明
- ❖ 植栽の整備方針、水遊び場の事例の紹介
- ❖ ワーク①：計画素案（3案）の評価
- ❖ 発表
- ❖ ワーク②：基本案の検討
- ❖ まとめ



＜ワークショップの様子＞

第2回ワークショップの結果

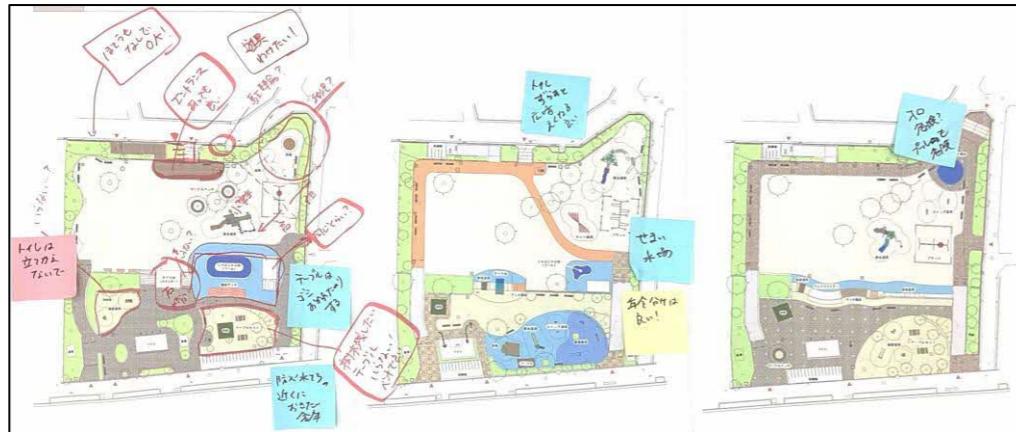
【ワーク①】

グループA、グループBごとに各素案について意見を出し合い、良い点（黄色）、気になる点（青色）、改良案（ピンク）のふせんを貼り付けて図を作成し、発表を行いました。

グループA



<グループAのワークの様子>



<グループAで作成した図>

グループB



<グループBのワークの様子>



<グループBで作成した図>

今回提示した素案と各案に対する意見

案1:現況踏襲案

概要	今のゾーニングや動線を活かしながら、各エリアをより使いやすい空間に整備
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 現況のゾーニング、動線を維持 遊具エリアは、動線に合わせて遊具の配置を見直し 石の滑り台やじゃぶじゃぶ池、その他の遊具は新しいものに更新 南側の休憩エリアにピクニックスペースや健康遊具を配置



案1：現況踏襲案

【良い点】

- 北側出入口にエントランスとして舗装を入れるのは良い。
- 現状のトイレは見通しが良いので子供の確認ができる。
- 樹木をとってテーブルセット、四阿を置くのは良い。

【気になる点】

- テーブルセットを置くとごみが置かれてしまうことが懸念される。
- 健康器具はいらないのでは。
- 石の滑り台付近の階段は一つで良い。

【改良案】

- テーブルセットの代わりに案2のような乳幼児スペースと四阿等の見守り場所をセットで設置する。
- 斜面の遊び場を拡張して、子供の冒險心をくすぐるような遊具を置いたらどうか。

案2:広場拡張案

概要	各エリアの広場を拡張し、様々な利用目的に対応した空間を整備
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ広場エリアを大きくするために水遊び場や遊具などの大きさや配置を変更 遊具エリアは対象年齢ごとにエリアを分けて整備 公園南側は休憩エリア+遊具エリアとして整備



案2：広場拡張案

【良い点】

- 児童と乳幼児で遊び場を分けるアイデアは良い。
- 案2のように、トイレの位置をずらせば南側の空間がより活用できるようになる。

【気になる点】

- トレイルセットが小さい。
- トレイルは古くないため、建替える必要はないのではないか。
- 北側広場の園路はない方が良い。広場が狭く感じる。

【改良案】

- トレイル周りのスペースがもったいない。

案3:高低差活用案

概要	公園中央部一帯を斜面遊び場として整備し、高低差を最大限に活用する案
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 公園外周を一周できる園路を整備 北東部に新たな出入口を設置し、遊具エリアは水遊び場を含めて遊具を配置 斜面遊具エリアを最大限拡張 公園南側に広いエントランス部と広場を整備



案3：高低差活用案

【良い点】

- じゃぶじゃぶ池をドライ噴水にして、夏季以外も人が通れるような形にするのも良い案だと思う。

【気になる点】

- 北東角部の出入口は見通しは良くなるが子供が遊ぶエリアの人通りが多くなり、交差点への飛び出しの危険性もあるため、防犯上や安全上の課題がある。
- 暗くて明かりの届かない北東部に水遊び場を置くと夜にいたずらされることが懸念される。

【改良案】

- トイレ周りのスペースがもったいない。

【ワーク②】

ワーク①の結果を踏まえて作成した、基本案のたたきをもとに、ゾーニングや各エリアの整備方針等について全体で確認し、基本案を決定しました。

北側出入口部

- 土砂流出対策を兼ねて滞留空間となるエントランス部を整備

広場エリア

- 現況と同じ広さは確保
- 広場内のシンボル的な高木は基本的に残す（ケヤキ、ユリノキ、サクラなど）
- 広場内に硬い舗装の通路は設けなくてよい

高低差のあるエリア

- 石の滑り台は今と同様の素材で改修
- 階段の配置や植栽帯の範囲を再考した上で、斜面遊具の追加を検討（ただし、ケヤキは残す）

西側園路

- 現況の主要動線は確保（通り道として）

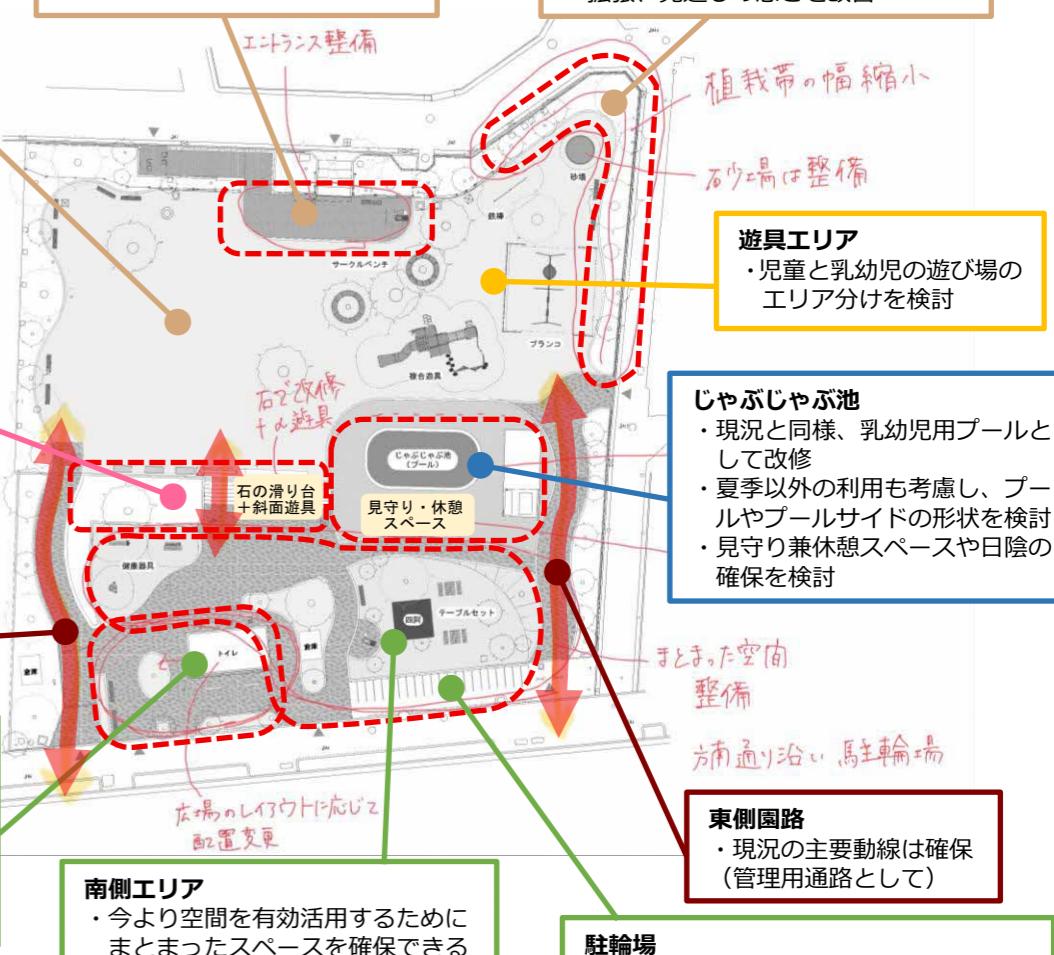
トイレ

- 南側のレイアウトに合わせてトイレの配置見直し及び建替を検討
- 安全性確保のため、トイレ周りの樹木配置を見直して見通しを良くする

南側エリア

- 今より空間を有効活用するためにまとまったスペースを確保できるようにレイアウトを変更する（活用方法は要検討）

: 主な意見
(整備方針)



【第2回ワークショップ最終とりまとめ】